

## 平成29年度第4回理事会議事録

1. 日時：平成29年12月16日（土） 13:30～16:10

2. 場所：岸記念体育会館5階 504、505会議室

3. 出席者：

理事：総数27名中 松丸喜一郎会長 藤井優副会長 田村恒彦副会長兼専務理事

岸高清常務理事 袴田登喜造常務理事 溝部政司常務理事

大野明敏常務理事 鍵山博常務理事 横山幸子常務理事

香西俊輔理事 井上康理事 生島賀寿也理事 平井宏治理事 田中敏夫理事

三木容子理事 佐橋朋木理事 藤井彌理事 田中僚一郎理事 源洋子理事

高橋信吾理事 成山悟史理事 田中辰美理事 麻植芳靖理事 以上出席23名

監事：総数2名中 石崎和男 以上出席1名

田村専務が13時30分に理事23名出席で成立するとの宣言をした。

4. 議事録署名人：松丸喜一郎、藤井優、田村恒彦、石崎和男

5. 松丸会長挨拶

松丸会長が、第10回アジアエアガン選手権大会は選手役員550名の参加というこれまでで最大規模の大会となり、海外のTD、ジュリーからも非常によくマネジメントされていたと評価をいただき、地元和光市、警察署からも高く評価され、22年ぶりの国際大会開催として大成功であったと言えます。これも運営に携わっていただいた皆様の献身的なご努力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。本日の審議もよろしくお願ひします、とあいさつした。

### <緊急報告>栃木県ラ会員ライフル銃盗難について

田村専務理事より12月14日に発生した栃木県ラ会員のライフル銃盗難事件について経緯説明と銃、弾薬の保管について法令等を遵守した厳重な管理を会員にこころがけるようにとの報告があった。さらに栃木県ラ谷津会長よりお詫びのあいさつがあった。

### <審議事項>

1. 21歳未満AP優先被推薦者に関する推薦 Bulletin54 案について

袴田推薦委員長より資料1-改のとおり説明があった。これに対し、鍵山常務より最初から6回というのは厳しいのではないかと。との意見、大野常務より高校部会にはAPの試合がなく校長が出場を認めてくれないような状況もあり、6回というのはある程度緩和して運用してもらえないか。との意見があった。これに対し袴田委員長より30年4月以降の推薦申請受付分から実際に回数をとってみて実態を2年後夏ごろに把握したうえで、結果をご報告して更新の可否をご判断いただくように実施をするということにしたい。との発言があり実際の回数実態を把握した上での判断を改めてはかるという経過措置をとる前提条件つきで議長が諮ったところ全員異議無く承認した。

2. 国際エアガン大会（H&Nカップ）派遣について

田村選手強化委員長より資料2-改のとおり説明があり、議長が諮ったところ全員異議無く国際エアガン大会の派遣について資料2-改のとおり承認した。

3. 世界大学選手権大会派遣について

大野ジュニア育成委員長より資料3のとおり説明があり、議長が諮ったところ全員異議無く世界大学選手権派遣選手役員について承認した。

4. 第1回ヤングスターファイナル大会承認および今年度事業追加について

大野ジュニア育成委員長より資料4について説明があった。

松丸議長がこの大会を日ラ主催大会として来年度事業計画の中に新たに設けるといふことの承認について諮ったところ全員異議なく承認した。さらに松丸議長が、平成30年2月については日ラ主催とはしないプレ大会といふことで諮ったところ全員異議なく承認した。

5. 小学生向け段級の設定について

溝部競技運営委員長より資料5-改のとおり説明があり、それに対し大野常務より初段から5段までメッキの色を変えるなどを考えていただきたいとの意見があった。議長が諮ったところ全員異議なく資料5-改のとおり実施することを承認した。

6. 審判員の公認について

平井競技運営副委員長より資料8のとおり説明があり、議長が諮ったところ全員異議なく静岡県内の4名の本部公認について承認した。

7. 射撃場の公認について

香西認定部会長より資料9のとおり説明があり、議長が諮ったところ全員異議なく三重県営射場の10M射場と和光市総合体育館のエアライフル射撃場について承認した。

8. 記録の公認について

源記録部会長より資料6-改のとおり説明があった。それに対し溝部常務、成山理事より資料への記載もれとしてAP40Wファイナルの3件、AP40JWファイナルの1件の指摘があった。議長が諮ったところ全員異議なく、資料6-改に加え議事録末尾の正誤表のとおり追記することも含め日本記録の更新として承認した。

<報告事項>

1. 委員会報告:

1) 総務委員会

・平成29年度半期決算結果について

田村専務理事より資料7のとおり報告があった。その中で特に、上期分ではないがアジアエアガン大会での支出について大会会場の設営費が1500万円ほど増加しておりこれについては大会スポンサー料の増額、JOC強化交付金の今年度増額分や昨年度末の入金で今年度の前受け金とすることとなった約975万円などを充当し、協会からの支出増を抑えていきたい。長崎の東アジアユースの執行額の増額は、アジアエアガン大会をにらんだ全国からの役員召集にともなう費用増や参加国用のバスの配車増などによるものであるとの補足説明が田村専務よりあった。

2) 推薦委員会報告

・9,10,11月推薦委員会審査結果および退会者推薦取消について

袴田推薦委員長より資料10のとおり報告があった

3) 国体委員会報告

鍵山国体委員長より愛媛国体について大会役員として出役していただいた皆様のお蔭で円滑な大会運営ができたとお礼があった。

愛媛県ラ所属の井上理事から愛媛国体の運営や役員出役につき御礼の挨拶があった。また福井県ラの生島理事より、リハ大会台風での最終日中止などもあったが、来年の本番もよろしくお願ひしたいとの挨拶があった。

鍵山国体委員長より福井国体Kカードについて資料11のとおり福井国体要項、茨城リハ大会日程について資料12のとおり報告があった。

4) 2020東京オリパラ準備運営本部・選手強化委員会報告

・第10回アジアエアガン大会の日本代表選手、成績結果、大会参加者数、各国メダル数などについて田村大会組織委員長・選手強化委員長より資料13のとおり報告があった。

## 5) 選手強化委員会報告

### ・ワールドカップファイナル大会成績報告

田村選手強化委員長より資料 14 のとおり報告があった。その中で松田知幸選手が A P 6 0 M で世界記録で優勝した件につき獲得したカップが披露された。

## 6) 競技運営委員会

### ・H30 年度事業計画策定上の方向性について

溝部競技運営委員長より資料 15 のとおり報告があった。

藤井彌理事より、11月のISSFのライフル委員会の議論内容について、2018年より女子種目の弾数を40から60発に、3×20を3×40に増やして男女同数にするとのことになった。来年のワールドカップ、世界選手権はこのとおりになる見込みで、銃の重量も8kgになる見込みである。との報告があった。

松丸議長が、本件は2020東京五輪までの残された期間を考えると大変重要であり、ミックスチームイベントも早急に大会導入する必要もあり、関係者で具体的な協議を進めて、2月の理事会審議事項としたいと述べ、それについては全員異議なく、2月理事会の審議事項とすることとなった。

### ・平成30年度事業計画案について

佐橋競技企画部長より別添資料1-改のとおり報告があった。その中で事前配布資料からの変更点についての報告に加え、当日配布資料中の本会事業の一部大会の開催日など3点の訂正が、後述の正誤表のとおり説明された。

関連事項として香西理事より、来年度からすべて新しい興東電子製の後継機で大会を実施することになるが、大会名は正式にチームピストルで良いのか。またルール上の表現や検定基準などの関連規程類も機材変更に合わせて見直すべきところもあるのではないかと意見があった。これについては競技運営委員会で検討することとなった。

## 7) 普及・生涯スポーツ委員会

### ・指導者部会委員追加および日体協制度変更動向について

成山指導者育成部長より資料 16 のとおり報告があった。その中で指導者育成部会の委員として大木盛義参事、平澤卓也参事を加えるとの報告があった。

## 2. 会務報告

### ・朝霞射撃場50メートル射場の廃止について

岸高事務局長より3月末をもって朝霞オリンピック射撃場の50メートル射撃場が廃止されるとの報告があった。

### ・加盟団体守則第7条の義務書類提出について

田村専務理事より提出義務書類について愛媛、山形の二団体で未提出があり確実に提出するよう報告があった。

### ・障害者射撃連名との連携について

香西理事より東京2020パラリンピック開催について理事、会員の意識は低くこのままでは問題だと思う。との発言があり、松丸会長より日ラの理事会においてもパラ選手の成績などを報告して、連携強化していきたいとの発言。さらに田中辰美理事より、障害者連盟単独では何もできないと言っても過言ではない状況であり、よろしく連携をお願いしたいとの発言があった。

### ・日ラ協会への支払い方法の再確認について

田村専務理事より、各加盟団体からの支払について請求当月分は翌月末入金を徹底されるよう報告があった

- ・理事会資料の提出期限について

松丸会長より理事会用資料の提出については各委員長が責任をもって理事会の十日前までにかならず事務局に提出するようにとの発言があった

- ・退会者の推薦銃放銃未報告者数について

田村専務理事より資料 17 のとおり報告があった。

石崎監事より

本日の公認射場・アジアエアガン選手などのように、どうしてもタイミング的に理事会での承認が事後にならざるを得ない事項については、実施に際しては会長の事前承認を条件に行い、その上で、直後の理事会で事後承認という手続きを踏んでもらいたいとの発言があり、理事会もそのことに同意した。

16時10分議長が閉会を宣言した。

平成29年12月26日

議事録署名人

議長、代表理事（会長）松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

藤井優

藤井優



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



監事

石崎和男

石崎和男



## 平成29年度第4回理事会資料訂正正誤表

平成29年12月16日(土) 13:30~16:10に開催された公益社団法人日本ライフル射撃協会平成29年度第4回理事会の審議の中で、訂正があり訂正内容も含め議決、報告された資料の正誤内容は下記のとおり

### <審議事項>

#### ○資料1

推薦 Bulletin No54

(1ページ目【条件の内容】について下記を追記する)

「移行措置として平成30年4月以降の推薦申請受付時被優先者の2年後1回目の対象試合参加回数については、概ね1年程度の間、その実績、状況を推薦委員会で十分に把握検証し、理事会に報告のうえ再推薦対象から一律外すかどうか慎重に判断する。」

#### ○資料6-改

##### 9. 記録の公認について

###### 1) 10mAP40W(ファイナル)

下記を承認対象記録として追記

234.7点 【新】 相澤 ひかる (警視庁)

2017/10/1 内子町城の台公園特設射場

H29 愛顔つなぐえひめ国体

【新】 山田 聡子 (自衛隊体育学校)

2017/10/20 福井県立ライフル射撃場

第73回福井しあわせ国体プレ大会

236.9点 【新】 相澤 ひかる (警視庁)

2017/12/3 和光市総合体育館エアライフル射撃場

H29年度NT選考会

###### 10mAP40JW(ファイナル)

231.7点 【新】 高木 薫 (茨城県)

2017/11/4 広島県つつがライフル射撃場

H29 ジュニアエアガン大会

#### ○資料13

資料13-3 第10回アジアエアガン大会各国メダル数表の訂正

資料13-3の43ページ上から4行目日本のメダル獲得総数は正しくは「3」である。

#### ○別添資料1 平成30年度事業計画(案)

☆事前配布資料からの理事会当日配布資料への変更点(2点)

- ・本会事業関係 6月 東日本マスターズライフルの日付を6/9、10から6/17に変更し会場も静岡県藤枝市から埼玉県長瀨町に変更
- ・本会事業関係 6月 全日本マスターズライフル(300m)の日付を6/30 7/1から7/7、8に変更

☆理事会当日配布資料での変更点（3点）

- ・本会事業関係 1月 全日本ミックスマッチ射撃競技選手権の名称を「全日本ミックスチーム射撃競技選手権」に変更
- ・本会事業関係 2月 第2回ヤングスターファイナル全国選抜大会の回数を「第1回」に変更
- ・本会事業関係 6月 全日本マスターズライフル（300m）の日付を6/30 7/1 から7/7, 8に変更

以上